

第1回中央部地区・先端部地区作業部会の検討内容(概要)について

平成18年6月22日に開催された第1回中央部地区及び先端部地区作業部会における検討内容は以下のとおりである。

1 議事及び配布資料

○ 議事

【中央部地区】

- (1) 平成18年度「中央部地区利用適正化基本計画」の具体化にかかる検討について
- (2) 各地域別実施計画策定事項及び平成18年度以降の具体的対応策について
- (3) その他(報告事項等)

【先端部地区】

- (1) 「利用の心得(案)」の優先検討事項について
- (2) 「利用の心得(案)」策定に必要な検討事項について
- (3) その他(報告事項等)
 - ・「知床半島先端部地区の自然環境保全のために
～環境省からの立ち入り自粛要請～」について

その他

平成18年度検討会議スケジュールについて

(配布資料)

- 資料 - 1 平成18年度「中央部地区利用適正化基本計画」の具体化にかかる検討について(案)
- 資料 - 2 各地域別実施計画策定事項及び18年度以降の具体的対応策(案)
- 資料 - 3 「利用の心得(案)」の優先検討事項について(案)
- 資料 - 4 「利用の心得(案)」策定に必要な検討事項について(案)
- 資料 - 5 平成18年度検討会議スケジュール(案)

2 主な意見等

[利用者マップの作成について]

- 利用適正化によって何をしようとしているのか、利用ルールの必要性、規制箇所を作ることの理由や、それ以外の場所では質の高いサービスを提供するといったような、全体の趣旨の説明を一般の利用者に分かり易く伝わるものとされたい。
- 魅力あるマップを作成し、「有料 = 寄付金」扱いについても検討されたい。

[中央部地区利用適正化実施計画(案)の作成について]

- 「自動車適正化協議会」や「カムイワッカ湯の滝協議会」との関係性を明確にし、矛盾が生じないように作業を進める必要がある。
- 夜間利用や冬期利用による鳥類への影響等については、「自然遺産科学委員会」とも調整・連携して進めるべきである。
モニタリング調査について、効果確認の指標を定める必要があり、指標の選定や扱いについても「科学委員会」と調整して進める必要がある。
- 施設整備計画やヒグマ対策について、知床全体の各地域の相対的な関係性(= クラス分け)と対策する側の位置付けを明確にして検討すべきである。

[知床五湖]

- 五湖地域に「利用調整地区」指定を検討すべきである。
五湖地区の利用コントロールを利用者に提示することにより、知床利用の象徴的なエリアになる可能性がある。
議論だけでなく、実験的にやってみることが必要。
- 五湖歩道の現況(1湖～2湖歩道の電柵設置、3湖～5湖歩道の閉鎖)は、応急的な緊急対策である。将来的には、地上歩道はある程度利用コントロールとガイドシステムの導入を行い、一般利用者は高架木道(延長整備)への誘導としたい。そのためのレクチャー機能・施設の整備が必要。

[羅臼湖]

- 羅臼湖へのバス利用について、定期バスの運行回数やバス停の設置をバス会社と積極的に進められたい。
- バス停の位置の検討、事前の周知手法の検討が必要。
- 羅臼湖の施設管理について、利用者の負担を含め、地域主体の仕組みを作る必要がある。
- 羅臼湖の木道の素材について、植生保護、外来植物(種子)排除の観点から、金属メッシュの採用を検討されたい。

[知床連山]

- 知床連山について、遭難防止対策、ガイドの質向上のための啓蒙が必要。
- 登山口の駐車スペース不足による混雑解決については、登山専用のシャトルバスの検討が必要。

- 登山者の人数制限や有料トイレなどの仕組みを作って欲しい。
- 二つ池のルート変更、野営の規制について、今年度調査を踏まえ検討を進める。
- 羅臼岳登山の羅臼側登山ルートへの分散については、登山道のキャパシティを見極めた上で議論すべきである。

【カムイワッカ】

- カムイワッカは知床の象徴的な場所であり、これの利用規制については、さらに徹底した議論が欲しい。希有な自然と接することが出来る場所として維持し、出来る限りの危険の排除を望む。
- 利用の安全性をどのように解釈し確保するか、大きな課題である。事故が起これば、管理者・行政は管理責任 = 賠償責任を問われる。登山条例等を色々な手法を踏まえ検討が必要である。

〔先端部地区利用の心得(案)の検討事項について〕

- 立ち入りの抑制(人数・日数制限)については、それを担保するシステムをどのように考えるのか。
- 人数制限については絶対的な数値はなく、また、効率の良い手法ではない。影響を検証できる指標の選定を行い、検証結果に基づく管理手法のシステム化と制度の導入手法を議論すべきである。
- 計画書の提出時期等の具体的な検討が必要。

(以上 文責事務局)